

# 広報 てんのう

発行・秋田県天王町役場 TEL (018878) 2211~4

編集・企画室 印刷・一日市印刷 電話(018875) 2038

町のうごき

本籍数	4,784
本籍人口	15,145
世帯数	3,842 (3,834)
住民登録人口	14,179 (14,163)
内	
男	6,830
女	7,349

2月1日現在

( )内は1月1日現在



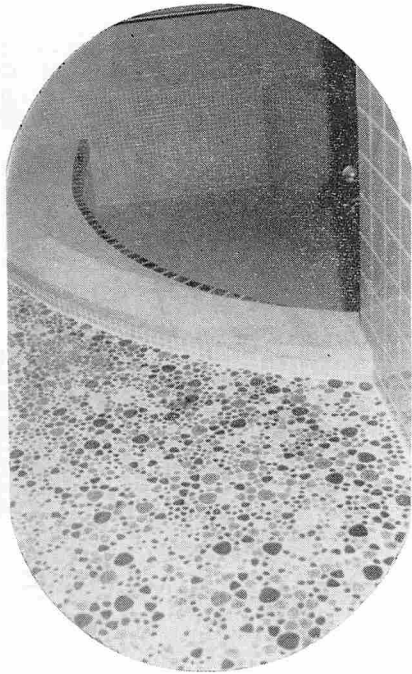
910m<sup>2</sup>の湖岸保育所全景  
今年度の修了式は新しい保育所で行います

湖岸保育所、追分老人の家

## 11日に オープン

湖岸地区福祉センター用地の湖岸保育所と追分地区の老人の家「ことぶき荘」が、いよいよ三月十一日にオープンすることになった。湖岸保育所は、現在の大崎と穂丈谷地の両へき地保育所を統合するもので、十一日に子どもたちを入所させ、新しい保育所で卒園してもらおうことになった。

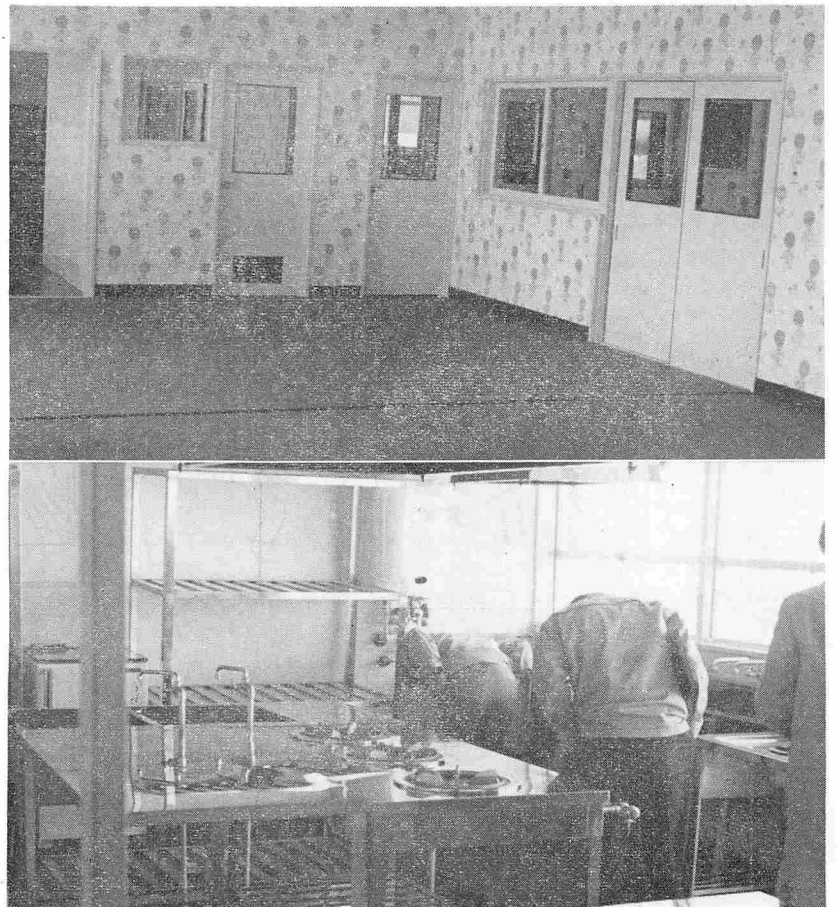
通園のためのバスは、三月中は中央交通のバスで、新年度からは幼児用のマイクロバスを購入して幼児の送迎を行う計画を立てている。また、追分老人の家「ことぶき荘」も十一日に開設し、同地区のお年寄りに気軽に利用して潤いのある老後を送っていただく計画です。



### 追分老人の家ことぶき荘

お年寄りたちのやすらぎの場。  
タイルで仕上げられた浴室で、浴そうは半円に型どられたユニークなもの。  
みんなで気軽に利用を。

壁には子どもたちにふさわしい楽しいアイデアがこらされている(上、乳児室)  
給食設備も整い四月からは無料で実施します(下、調理室)



# 目を大切に

## 学校保健大会で活発な話し合い



▲「目の保健について」の桜木助教のお話しにも真剣に

町教育委員会で、学校保健活動を活発にしようと、昭和四十八年度の「学校保健大会」を二月十三日町公民館で行った。

この大会では、天王中学生徒が生徒自らが実践した保健活動の中から、その成果と問題点を発表。また、東湖小の伊藤保健主事が「目の健康」について、同校の保健教育研究部がまとめたアンケートの結果から、本やテレビを見る時の姿勢、距離などその結果に基づき、目に対する知識と視力異常者に対する指導を行ってゐることを発表した。

さらに今後の問題点として、①定期的に視力検査を実施し、

異常者を早期に発見し、予防策を立てる。②異常者には必ず専門医の診断を受けさせ、指導と治療をすすめる。③日常の生活での目の疲労につながることを避け、その疲労を除くような体操を習慣づける——などを提起していた。

このあと、出席者全員で「今後の保健活動はどうあるべきか」を研究、活発な話し合いをした。最後に「目の保健について」と題して秋大医学部助教授の桜木章三氏が講演、器具を使ってのわかりやすいお話しに、児童生徒の指導に役立てようと、真剣に耳を傾けていた。

## 一千七百万円を減額

### 二月二十六日に臨時町議会

ことし初の臨時町議会が、二月二十六日に開かれ、一般会計補正予算案を原案どおり可決して、同日閉会した。

上程された補正予算案は、一千七百四十五万九千円が減額され、歳入歳出の総額は、九億六千三百九十一万三千円となつた。

この減額は、農道整備事業の工事請負費とそれに伴う負担金補助金の減が主なもので、追加されたのは、塩口北野公営住宅の物置き小屋を建てるための工事費三百六十六万一千円などである。

## 申告は15日まで

### 申告しないと不利

町税務課では、二月十二日から町民税の所得申告指導を行っています。当日会場にいけない方やいかなかった方は、三月十五日まで役場で必ず申告をしてください。

申告をしないといくと、特別控除やその他の控除の特典がなくなり、大変不利になります。

ぼくをお忘れなく

期日を過ぎると特典がなくなりますよ



## 三月の日程

- ▼一日 羽立三区、四区(羽立分館)
- ▼四日 塩口(塩口分館)
- ▼五日 江川一区、二区(江川児童館)
- ▼六日 江川三区、四区(同)
- ▼七日 本町、下町、西荒町(戸主会事務所)
- ▼八日 旭町、神明町、上荒町(同)
- ▼十一日 曲町上、曲町下、(天王本郷分館)
- ▼十二日 二田一区、七区、(町公民館)

固定資産課税台帳  
縦覧期間は四月に  
昭和四十九年度に限り、固定資産課税台帳の縦覧期間は四月十一日から四月三十日までとなりました。  
これは税法の改正によって、小規模住宅用地に対する固定資産税の軽減が行われる見とおしになり、四十九年度固定資産課税台帳のうち、住宅用地について仕分けと再計算を行うため、縦覧期間が四月に延期されたものです。  
このことについて、ご不明の点は、天王町役場税務課固定資産課税係におたづねください。  
※通常の年の縦覧は、三月一日から三月二十日までです。

## 今月中に手続きを

### 児童手当制度

四十九年四月から児童手当で制度の支給範囲が広がり、十八歳未満の児童三人のうち、義務教育終了前の児童がひとりいれば支給対象となります。  
四月から新たに該当すると思われる方や児童手当の額が、これまでより増えると思われる方は、今月中に役場民生係で請求の手続きをしてください。手続きが四月以降になりますと、請求をした翌月からとなります。

なお、公務員と三公社に勤めている方は、勤務先に申し出てください。

## 二田新町営住宅

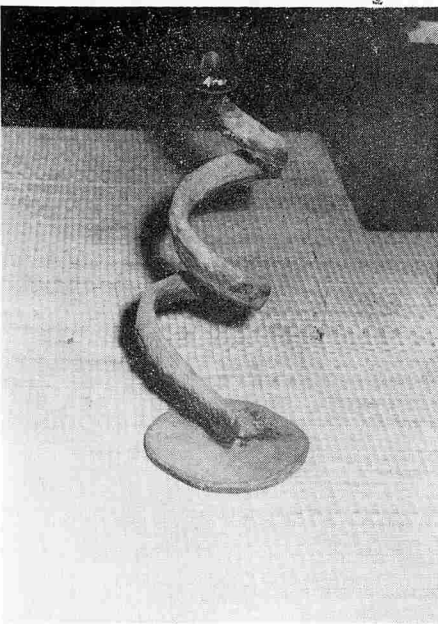
## 空家を払い下げ

町では、塩口北野の新しい町営住宅などへ転居したあとの二田新町の町営住宅の空家を無償で払い下げすることになった。  
解体工事は四月一日からの予定ですので、払い下げ希望者は三月二十日まで、役場建設課へ申し込んでください。  
なお、取りこわし、材料の搬送などの費用は、いっさい払い下げ希望者の負担になります。

## 農振の縦覧は

### 十三日まで

ただいま、農業振興地域整備計画の農用地利用計画案の縦覧を行っています。  
期間は三月十三日までですので、役場経済課で縦覧してください。



## 民具の紹介

これは民家で手作りのロウソクダテ。チョットした厚板を台柱にして、それに藤の木の曲りを柱にしたもの。この藤の木を使った所に面白みがある。そして調子よく重心をとって倒れないように作ってある。手作りの民具は買ったものよりも、なつかしみの深いものである。

# チャンスポール スパイク

## 32チームで家庭バレーボール

父ちゃん、母ちゃんの健康な一日―家庭バレーボール大会が二月十七日の家庭の日に、町公民館と天王小体育館で熱戦が繰り広げられた。この大会も回を重ね、二十一回目を数えた。

試合は、男子青年十二、壮年五、女子若妻十四、主婦五の四部に分かれて行われ、合わせて三十二チームが参加した。各部とも、日頃の練習をこの大会で発揮させようと、我が子の

当日の成績は次のとおり。

- ◎男子 青年の部  
①二田 ②大崎 ③出戸新町 壮年の部  
①出戸新町 ②天王 ③二田
- ◎女子  
若妻の部  
①塩口 ②二田新町 ③上出戸 主婦の部  
①兄玉 ②二田 ③二田新町

### 天王小に

## 地区学校賞

### 全国教育美術展で

本町の天王小学校(中村正樹校長)は、二月十一日から十七日まで東京で行われた第三十三回全国教育美術展で「地区学校賞」に選ばれ、このほど、その賞を受けた。

同校は、この美術展では昨年引き続き二度目の受賞で、児童画のコンクールでは折紙つきの賞といわれる最高の権威あるもので、この中で十一名の特選者を出した。

### 特選者

- みうらかずあき(一年) ふじわらいく(同) よねやかづよし(同) さとうみさこ(同) 渡部秀是(五年) 伊

## 10日に九人制バレーボール

町バレーボール協会と町体育協会では、三月十日の日曜日午前九時から天王中体育館で「九人制バレーボール大会」を行います。

### チーム編成

大会は、男子チームと女子チ

## 卒業式と入学式

( )内は時間

### \*卒業式

- 三月十四日 天王中(十時)
- 三月十六日 出戸小(十時)
- 東湖小(一時)
- 三月十八日 天王小(十時)
- 追分小(一時)

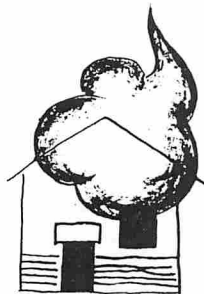
### \*入学式

- 四月二日 追分小(十時) 天
- 王小(一時) 出戸小(同)
- 東湖小(同)
- 四月三日 天王中(一時)

藤寛美(同) 桜庭陽子(同)  
小柳忠(同) 三浦美紀男(同)  
菊地祐樹(六年) 伊藤聖子(同)

## 火事、救急は一一九

### 追分地区は三四三四へ



電話が自動ダイヤルになったのに伴い、電話番号が変わりました。天王分署への一般事務の問い合わせは三四三四番、火災と救急は一一九番です。なお追分地区の方は〇一八七八―三四三四へ通報してください。火災、地震などの災害による事故、交通事故、工事現場での

ます。

男子チームは、原則として職場、部落単位で編成することになるが、女子は職場、部落単位でなくてもよいことになっています。参加料は一チーム千円で、三月九日まで公民館管生へ申し込んでください。



### =選挙啓発ポスター=

## 三 児 童 が 入 選

自治省、文部省、都道府県選管、市町村選管などの共催で、先に「明るく正しい選挙啓発ポスター」を募集していたが、四十二点の応募があった。町選管では、この中から小学生六点、中学生五点の優秀作品を県選管へ送った結果、県選管から三名の入賞者が発表された。

### 入選者

- (写真右から) 藤原こう子(天王小六年) 嶋崎由美子(同) 坂谷泉(追分小六年)

## 決意を新たに 記念式典

天王町消防団第五分団(大崎)では、このほど大崎分館で五十年記念式典を盛大に行った。この式典は、現在の分団の前身である大崎自衛消防隊が発足以来、今年で五十年目を迎えたことを記念して行われたもの。式典では、火災予防や初期消火に対する地域ぐるみの防火体制が確認されるとともに、これまで同分団に対する功績者の表彰も行われた。

また、記念事業の一つとして、大崎部落と第五分団のあゆみなどを記した記念誌も発行された。



▲さわやかな光景!! かわいい子どもを背に表彰をうけてニッコリボクモバレーに出たいよ?

